

2018年4月5日

第一号物件を取得し、古民家再生保養所事業をスタート 淡路島の築80年以上の古民家をまずは自社の保養所に

～ クリエイティブオフィスに続き、社員の創造性とコミュニケーションを促進 ～

クリエイティブなオフィス空間を提案する吉武工務店（代表取締役社長吉田丈彦 本社：東大阪市）は、企業が社員とのコミュニケーションを促進し、創造性を高める場をつくることをサポートするため、古民家再生保養所事業をスタートします。その一号物件として淡路島洲本市で朽ち果てつつある築80年以上の古民家を取得し、4月10日より改装工事をスタート。6か月かけて「露天風呂」「集いの間」「畑」などを社員と一緒に作り、自社保養所「Yoshitake村」として再生します。その経験を生かして順次古民家再生を進め、中小企業を元気にする古民家再生保養所事業として展開いたします。

念願の保養所づくりがいよいよスタート

当社は中小企業を元気にするため、ひらめきが生まれるトイレ、リラックスできる休憩室、コミュニケーションが深まるバーカウンターなど、意欲や創造性を高められるオフィス空間を企業に提案しています。また当社は長らく、夢を語り合える自社施設を社員全員で作りたいと思っており、淡路島で物件を探していました。洲本の南で条件のあう古民家が見つかったことから、「古民家プロジェクト委員会」を社内で立ち上げ、古民家を保養所として再生する、「Yoshitake村」づくりがいよいよスタートしました。



社員全員で、自分たちの夢をひとつずつ形に

取得した古民家は、築80年以上が経っており、2001年以來、空き家となっていました。敷地は370坪あり、海の見える露天風呂、みんなで囲む囲炉裏、バーベキュースペースや畑など、自分たちの夢をひとつずつ形にし、だんだんできあがっていく様子を社員全員で楽しみたいと思っています。

4月10日より建物を解体して改装工事をスタート。普段施工にかかわるスタッフだけでなく、営業や設計スタッフも解体や壁塗りなどに参加して、全員で仕上げていきます。完成後は自社の保養所としてだけでなく、気分を変えながら働くことができるサテライトオフィスとしても活用。ウェブカメラを設置し、遠隔でミーティングができる環境を整えます。社員と一緒に作る保養所、多様な働き方ができる空間づくりなど、今回の経験をもとに古民家再生保養所を中小企業に提案し、社員とのコミュニケーション促進や、創造性を高めることで中小企業を元気にすることを目指します。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先

株式会社 吉武工務店 担当：吉田丈彦（携帯：090-1590-0684）

〒579-8064 大阪府東大阪市池島町1-6-52

TEL:072-985-7171 FAX:072-985-5353 E-mail: info@yoshitake.ne.jp

HP: <http://www.reform-office.co.jp/index.html>

参考資料

■企業概要

社名	株式会社吉武工務店
所在地	〒579-8064 大阪府東大阪市池島町 1-6-52
資本金	3000 万円
代表者	吉田丈彦
社員数	11 名
設立	昭和 40 年 8 月
事業内容	建築総合請負・一般建築士事務所・不動産全般

①社内看板、古民家風の女子更衣室(休憩スペース)の設置

社内でも何かおもしろいことをやろうという、社員の風潮が高まっています。オフィス空間を変えることで創造性に溢れ感性が豊かになる社員が増えるのではないかと思います。例えば、社内看板の設置です。「龍宮城」という名称の看板がある場所に設置しました。どこの場所かと言いますと…

そこは古民家風の女子更衣室(休憩スペース)です。昔話にも出てくる名称を利用し、男子禁制の女性だけの空間を設けています。他にも鏡のある場所に「笑う門には福来たる」という看板などを設置し、仕事をする場所に「遊び心」を加え、日々楽しむことができるようにしています。



②経営方針合宿

吉武工務店では毎年、一泊二日で経営方針合宿をおこなっています。ここでは社員全員が本音で語り合い、よりよい会社作りを目指しています。会社の原動力となる大切な目標なので、一つ一つ時間を掛けながら、話し合っています。話し合いの中で、31期のスローガンとして「イノベーション～日本一幸せな社員～」というスローガンを立て、夢の実現に向けて新しい期をスタートさせました。

